



平成 28 年 4 月 25 日

各 位

〔会社名〕 極東貿易株式会社
〔代表者名〕 代表取締役社長 三戸 純一
(コード番号 8 0 9 3 ・ 東証第 1 部)
〔問合せ先〕 取締役執行役員
管理企画グループ長 苫米地 信輝
(TEL. 03-3244-3592)

極東貿易株式会社グループ新中期経営計画「KBK 2016」について

当グループはこのたび 2016 年度（平成 29 年 3 月期）から 2018 年度（平成 31 年 3 月期）を対象期間とする、新たな中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

2015 年度（平成 28 年 3 月期）を最終年度とする前中期経営計画「KBK 2013」においては、エンジニアリング商社として技術力を一層向上し、より高い付加価値を顧客に提供することにより、当グループの収益力の強化と株主価値の向上に努めてまいりました。当グループは同期間内において、オートマックス株式会社及びエトー株式会社をグループの一員として加えて業容と事業領域の拡張を図るとともに、武漢、高雄、メキシコ並びにモスクワに新たな海外拠点を設けるなど市場の拡大も図ってまいりました。

この結果、当グループは、「KBK 2013」において掲げた定量目標を達成するとともに、公募増資などにより財務基盤の強化も着実に実行してまいりました。

今後の中期的な情勢は、国内においてはマイナス金利を導入した金融政策と消費税増税の動向に加え、加速する円高傾向など予断を許さない状況が継続しており、世界においても原油価格の低迷、中国経済の減速に併せ地政学的リスクも依然として大きな懸念材料となっており、先行きはますます不透明な状況となっております。

このような状況の下、当グループは一層充実した事業基盤と拡充したグローバルなネットワークによって、新次元の事業展開を行うための成長戦略として 2016 年度（平成 29 年 3 月期）を初年度とする新中期経営計画「KBK 2016」を策定いたしました。

当社は平成 29 年 11 月に創立 70 周年を迎えます。中長期的な時間軸の中で経済環境の激変にも耐え得る経営基盤を築いてまいります。

1. 経営理念

当グループは、当社の社是である「人と技術と信頼と」の下、創立時からの経営理念である「必要な技術を必要な企業へ」を基本的な価値として共有し、常に先進技術の提供に取り組んでまいりました。

この経営理念の下、国内外の幅広いネットワークやステークホルダーとの強い信頼関係を背景に、メーカー的ソリューション機能と商社的イノベーション機能とをハイブリッドに提供することで、我が国を始めとする世界のさまざまな産業界のニーズを迅速的確に充足させる企業集団を目指しております。

更なる飛躍となる新中期経営計画「KBK 2016」を実現することで、更なる収益力の強化と株主価値の向上に取り組んでまいります。

2. 中期経営計画数値目標（連結）

第3項に掲げる重点戦略を着実に実行することで、以下に示す中期的な数値目標を達成いたします。当該計画期間においては、事業環境の変化にかかわらず着実な収益を挙げるための体質強化に努め、計画3年目には将来の更なる飛躍を目指す企業集団体制を整えます。

単位：百万円

	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	64,000	66,000	70,000
営業利益	1,000	1,300	1,600
経常利益	1,350	1,650	2,000

3. 重点戦略

・「基本戦略」

(1) 事業領域・収益力の強化

- ① 既成概念にとらわれることなく、事業領域の多様化・拡大に努めます。
- ② 収益力の強化を図り、盤石な経営基盤とともに株主資本の充実による継続的企業価値の創出を目指します。

(2) 人財戦略の強化

- ① 人を育て後世につなぐことを人財戦略の最重要課題としています。社内外での研修や、グループ会社・主要取引先等での技術研修派遣の実施を図り、基礎から応用迄幅広い知力の底上げを図ると同時に、グループとしてコンプライアンスの徹底と個々の技術的知見を高めます。
- ② グローバルな視点でグループ内での人財活用の仕組み作りを確立し、新しい事業を開拓・育成できる人的資源の活用と同時に、海外拠点でのローカル・スタッフの増強・意識向上を図り、事業機会の創出に努めます。

・「成長戦略」

(1) 既存事業の強化

- ① 高度化・変革化する国内基幹産業の期待に応え、より付加価値の高い新技術の導入をリードすることで、既存事業の強化を図ります。
- ② 取引先企業の海外進出に伴う事業の展開を推進いたします。

(2) 新事業の推進と投資機会の強化

- ① 新規事業の更なる推進に努め、既存事業の周辺での事業拡大を目指すと同時に、新しい事業領域の開拓を目指します。
- ② 国内外に拘らず、既存事業との相乗効果、補完効果や成長性を踏まえた投資案件について積極的に推進します。

(3) 海外での収益力強化

- ① グローバルに収益をあげる業態への成長軌道を確立し、事業機会を世界的な視野で捉え輸出取引・外国間取引の比率を高めます。
- ② 引き続き海外拠点での収益基盤を拡充します。特に、欧州、タイ、インド、メキシコ及び、ブラジルを海外強化拠点として収益力の向上を図ります。

(4) グループ経営の強化

- ① 拡大したグループ企業や国内外拠点網の相互有効活用、並びに情報の共有化によって新たな事業機会と相乗効果を創出します。
- ② グループ横断的な経営リソースの効率化と共有化を積極的に行い、業務の効率化とコスト削減を実現します。
- ③ グループとしてのリスク管理体制の強化、コンプライアンス意識の向上に努め、実効的なコーポレートガバナンス実現に取り組みます。

以上